

令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

| | | | | | | | |
|--------|------|----|----|----|----|-----|---------------|
| 教科 | 保健体育 | | | | | 科目 | 体育 |
| クラス又は班 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 単位数 | 使用教科書・教材 |
| 担当者 | | | | | | 2 | ステップアップ高校スポーツ |

教科・科目のねらい(目標)

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度等】 |
|---|---|--|
| 技能について、指示された記録や目標とする動きにおおむね達成している。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。 | 自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したり、まとめることができる。周りの生徒と協力し、的確なアドバイスをすることができる。 | 欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や支持をよく聞き、準備や片付けを積極的に行う。ことができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。 |

| 学期(月) | 指導項目 | 指導内容 | 評価基準 | | | 予定時数 |
|---------|------|-------------------------------|------|---|---|--------|
| | | | 知 | 思 | 態 | |
| 1 学期 | 4 | スポーツテスト | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 5 | バドミントン/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる | | | | 11 |
| | 6 | 体育理論 水泳 | | | | 2 8 |
| | 7 | クロール 平泳ぎ | | | | |
| 2 学期 | 9 | 水泳 | | | | 6 |
| | 10 | バレーボール/テニス/卓球 習熟度で3種目に分かれる | | | | 22 |
| | 11 | | | | | |
| | 12 | 体育理論 | | | | 2 |
| 3 学期 | 1 | 持久走 | | | | 6 |
| | 2 | バスケットボール/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる | | | | 6 |
| | 3 | 体育理論 | | | | 2 |

年間予定授業時間数

70

| | |
|-------|--|
| 評価の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。 |
| 備考 | |

年間授業計画

令和4年度 教科[保健体育] 科目[体育]

No.1

| | | | | | | | |
|--------|-----|--|--|--|--|-----|-------------------|
| クラス又は班 | 2学年 | | | | | 単位数 | 使用教科書・教材 |
| 担当者 | | | | | | 2 | 現代保健体育・ニューカラススポーツ |

| | |
|---------------|---|
| 教科・科目のねらい(目標) | 体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。 |
|---------------|---|

| 学期 | (月) | 指導項目 | 指導内容 | 予定時数 | |
|-------------|-----|---------------------------------------|---|-----------|----|
| 1 学 期 | 4 | スポーツテスト | 各種スポーツテスト(50m走・立ち幅跳びシヤトルラン・握力・長座体前屈・上体起こし・反復横跳び) | 3 | |
| | 5 | ソフトボール/テニス/バドミントン 習熟度でそれぞれの種目に分かれる | ・基本技術の習得 ・個人技能の修得 ・ゲーム | 11 | |
| | 6 | 体育理論 | ・スポーツの技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 | 2 | |
| | 7 | 水泳 | ・安全に関する知識(水の特性を知る) ・クロール(けのび、片手クロールなど) ・平泳ぎ(顔あげ練習、タイミング練習など) ・背泳ぎ(仰向けキック、片手プルなど) | 10 | |
| 2 学 期 | 9 | 水泳 | ・タイムトライアル | 6 | |
| | 10 | ソフトボール/テニス/バドミントン 習熟度でそれぞれの種目に分かれる | ・集団技能の修得(攻めの戦術、守りの戦術など) ・個人技能の修得(ハイクリアー、サーブ、バッティングなど) ・ポジション・戦法など ・ゲーム | 11 | |
| | 11 | ソフトボール/テニス/バドミントン 習熟度でそれぞれの種目に分かれる | ・集団技能の修得(攻めの戦術、守りの戦術など) ・個人技能の修得(ハイクリアー、サーブ、バッティングなど) ・ポジション・戦法など ・ゲーム | 11 | |
| | 12 | 体育理論 | ・効果的な動きのメカニズム ・技能と体力 | 2 | |
| 3 学 期 | 1 | 持久走 | ・マラソン大会に向けての練習(ペース走、タイムトライアルなど) | 12 | |
| | 2 | バレー・バドミントン サッカー・ソフト | 基本技術・集団技能・ゲーム | | |
| | 3 | 体育理論 | ・体カトレーニング ・運動やスポーツでの安全確保 | 2 | |
| | | | | 年間予定授業時間数 | 70 |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | <p>以下の点を総合的に見て評価する。</p> <p>1) 授業への参加状況(欠席・遅刻・早退・見学など、少ないほうがよい)</p> <p>2) 授業中の活動状況(服装、態度、意欲、興味・関心、理解、安全、技術)</p> <p>3) 集団への協調・協力</p> <p>*決して技術的な面に偏ることはなく、各項目をバランスよく評価基準とする。</p> |
|----------|--|

| | |
|----|--|
| 備考 | |
|----|--|